No.1	団体名	**鵜沼南町防犯隊**		
	活動開始時期	平成24年12月	構成員数 （R6.4.1 現在）	13 人
団体の活動母体		鵜沼南町自治会		
活動の範囲（地域）		鵜沼南町自治会地域	活動頻度	週1回
活動内容		・防犯パトロール ・防犯のための啓蒙活動 ・子どもや高齢者を犯罪から守る活動 ・警察と連携を図り、犯罪を防ぐ活動 ・その他犯罪防止に資する活動 平成30年度県防犯協会防犯功労団体表彰		

●実施内容

7 月 13 日(土)19:00-20:00、鵜沼南町防犯隊メンバー9 人と1匹により、地域の防犯パトロール活動が行われました。団体メンバーは 19:00 に鵜沼南町会館に集合し、全員で報告事項を共有した後、2班に分かれてパトロールを行いました。パトロール中は、南町の近況や趣味のゴルフの話、旅行の話など何気ない会話で盛り上がります。約1時間のパトロールを終え、メンバーは各々解散しました。

徒歩パトロールでは、月一回の決まった活動に加えて、個人で行う「ながら防犯活動」を行っています。隊員の曽我さんは「飼っているゴンタも隊員の一人として頑張ってくれています。散歩しながらの防犯活動も犬と一緒に回ることで効果がある。うるさく走っていたバイクがスピードを緩めるなど、一人前の防犯隊員として活動してくれています。」と話してくださいました。

7 月 22 日(月)14:00-15:00 事務局を担当する工藤さんに鵜沼南町会館で活動についてのお話を伺いました。「ゆるく活動することが活動の秘訣、自分のペースでできるところもいいかもしれない」と無理なく続ける活動のポイントを教えてくれました。また、「行くと皆に会えるから行きたくないと思ったことはない」とも。その温かさが活動の継続につながり長年の功績が認められて防犯協会で表彰をされたこともあります。鵜沼南町では防犯協会から支給された幟旗6本と防犯隊員お手製の「防犯警戒地域」のラミネートポスター約 40 枚が貼られています。自ら「手弁当での活動」といわれるお手製のポスターは愛知県との境に位置する県境の地域をしっかりと見守ります。

パトロール中は、地域に変化がないか、幟旗やポスターにほころびがないかどうか確認しながら周回、外を歩く人にもパトロールをしていることがわかるように帽子とベストを着用、青色防犯灯を持って回ります。地域でのつながりや声掛け、継続的な見回りが地域の安全を支え、住む人の安心につながっていました。

＜インタビューを終えた感想＞

お話を聞いて、鵜沼南町防犯隊はとてもあたたかく、ゆったりしたアットホームな団体だと思いました。総会の時もお互いの近況を報告し合ったり、一緒にご飯を食べたりとコミュニケーションが盛んにおこなわれているため、今までずっと続けて来られたと思います。活動内容についても、ポスターを貼ったり、パトロールをしたり、物品を管理したりなど詳しく知ることができました。パトロールをしていて、実際空き巣やその被害やその他犯罪などに出くわしたことはないとおっしゃっていたので、それはこれまでずっと防犯活動を続けてきたからで、すごく地域に貢献していると思いました。私たちが安心・安全に暮らせているのは、各地域にこのような団体がいてくださるお陰ということに気付くことができ改めて感謝したいと思うとともに、これからも活動し続けてほしいです。

（令和6年度インターンシップ　S さん）

鵜沼南町防犯隊は、全体での活動に加え、個人がゆったりとした雰囲気で行う「ながら見守り活動」を行っています。これからの活動を無理なく続けられる、近況報告をする場として防犯隊の皆さんにとって必要不可欠な場所になっていることがわかりました。また、工藤さんのお話の中で、「仲間に会えるから続けられる」という言葉があり、とても印象的でした。地域の方との関係が希薄化している今日の社会において、地域の安全を守っていくと共に、地域の方との交流が自然と育まれる防犯活動の場はとても素敵な居場所になっているように感じました。

（令和6年度インターンシップ　F さん）